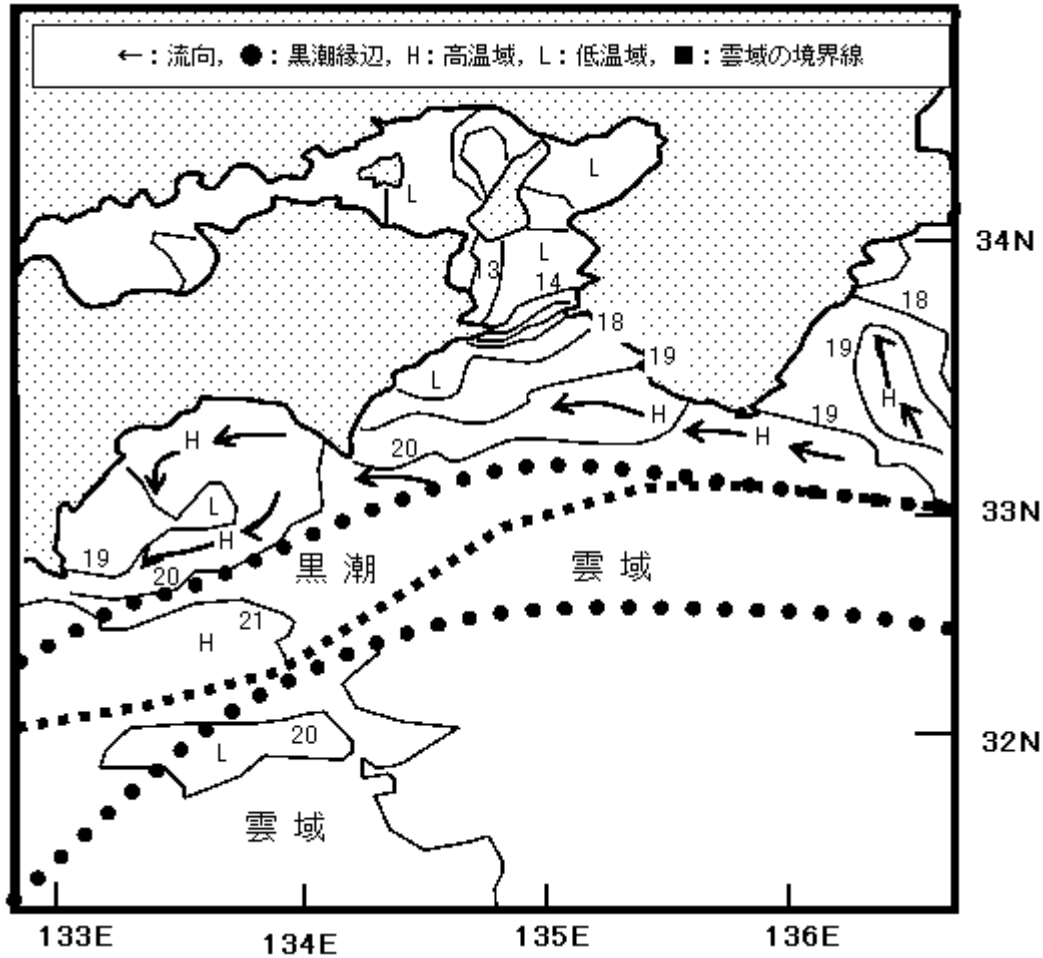


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸～足摺岬南～室戸岬～紀伊水道沖で接岸、潮岬でやや離岸して流れている。表面水温は21℃前後。



2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.4.7～8)を示した。

表面水温は播磨灘が11～12℃、紀伊水道内部が11～16℃であるが、徳島県沿岸部は11～13℃である。

水道外域は14～20℃である。

漁業調査船「とくしま」が4月3日に行った播磨灘海区の海洋観測結果では、水温は表層は「平年並み」の11.3℃、10～30m層は「やや高め」のそれぞれ11.3℃、11.1℃、11.0℃であった。

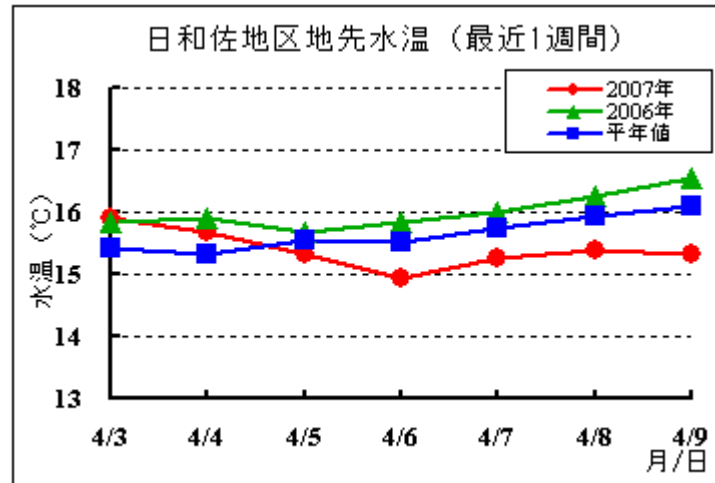
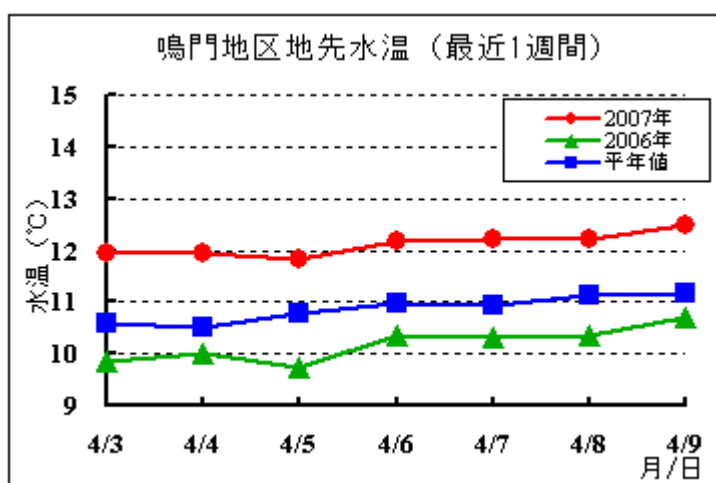
播磨灘海区観測結果 (観測日 2007/04/03)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	11.3	11.3	11.1	11.0	今年値	32.6	32.6	32.6	32.7
平年偏差	0.4	1.0	1.0	1.0	平年偏差	0.0	0.0	0.0	0.0
前年偏差	0.1	0.1	0.0	-0.2	前年偏差	0.0	0.0	0.0	0.1

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の11.8～12.5℃で、日和佐地区が「やや低め」～「平年並み」の14.9～15.9℃で、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の13.9～15.3℃で推移した。

日和佐地区及び牟岐地区は気温の低下と紀伊水道内海系水の南下により、水温が低下している。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、キビナゴが1.4トン(1日1隻あたり44kg)、マイワシが0.9トン(同71kg)、アオリイカが0.8トン(同9kg)、カタクチイワシが0.6トン(同30kg)、小主体にマアジが0.5トン(同14kg)、マルアジが0.2トン(同11kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、メジロが23.2トン(同2.1トン)、小主体にスルメイカが1.6トン(同150kg)、マルソウダが0.7トン(同61kg)、特大主体にヨコワが0.5トン(同49kg)、大主体にアオリイカが0.5トン(同42kg)、ブリが0.5トン(同41kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、メジロが2.1トン(同23kg)、ハマチが0.3トン(同17kg)、紀伊水道で、タチウオが0.9トン(同54kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが2.6トン(同48kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)3月29日～4月4日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	キビナゴ	31	1,368	44	
		マイワシ	13	927	71	
		アオリイカ	89	785	9	
		カタクチイワシ	20	606	30	
		マアジ	37	504	14	小主体
		マルアジ	21	231	11	
大型定置網	海部沿岸	メジロ	11	23,250	2,114	
		スルメイカ	11	1,649	150	小主体
		マルソウダ	11	670	61	
		ヨコワ	11	539	49	特大主体
		アオリイカ	11	463	42	大主体
		ブリ	11	454	41	
釣り	海部沿岸	メジロ	92	2,139	23	
		ハマチ	20	331	17	
	紀伊水道	タチウオ	17	923	54	
パッチ網	紀伊水道	シラス	54	2,600	48	

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬ともに「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の12～13℃、日和佐地先で「やや低め」の15～16℃で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが30.1トン(1日1隻あたり354kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが1.3トン、メジロが23.7トン、マアジが21.7トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上